

編集長 : 塩澤諒子
 編集委員 : 石井宏典 蛸灰谷愛 平岡性
 増田圭輔 矢原有理 ファリス・ジェイ

「八尾まちづくり大学」を越えて 八尾を引っ張る次世代のリーダーと共に、「次」へ

text_shiozawa



「八尾まちづくり大学」のメインイベント、「まちづくりセミナー」は全4回、無事終了しました。11月11日に行われた第4回セミナーでは、3つの小グループに分かれてそれぞれ違ったテーマを議論するワークショップ形式で行いました。歴史的建物の活用方法を考える班、空き家を利用し新たな居住者・長期滞在者を招く仕組みを考える「新歓町家」班、そして八尾

旧町のマップを考える班です。より少人数で、より具体的・実践的な内容を参加者主体で議論することによって、全4回の中でも一番充実した内容になりました。最後には参加者の方へ西村教授から「修了証」を授与。この「まちづくり大学」によって八尾の未来を担う牽引役が多く活躍してくれることを願うばかりです。



写真
 上段左から：歴史的建物班。模型があるとやはり盛り上がりませぬ。/「新歓町家」班。特に議論が盛んだったようです。/マップ班。個性あふれる様々なマップを創作。/修了証授与。参加者から一言ずつ感想もいただきました。



下段左から：左3枚ライトアップの様子。ペットボトルを利用してろうそくの柔らかい光で夜のまちを演出。/「風の市」での出展。カフェラテが人気。

「千の風」/ライトアップ

11月10日に行われた上新町「風の市」に東大チームも再び加わり、まちづくりカフェ「千の風」も常連・・・とまではいきませんが、顔なじみになってきました。夜には上新町の裏道「柳清水」で手作りのライトアップ企画も行い、地元の方の反響もなかなかのものでした。

八尾プロジェクトは今年度をもって一度、今までの私達の活動を総まとめします。2008年2月に行われるフォーラムでは4年間の蓄積を振り返り、広く住民の方々の前で報告する場を設けたいと思っています。今後のまちづくりへのステップとして十分に生かされるものになるように、もうひと踏ん張り。

各地区創意工夫、新宿Pの経過

text_yahara

新宿区景観計画ブックレット作成に向けて、四谷、笹塚、榎、柏木、落合第一、落合第二地区を各2名ずつでどのような構成にするか議論しながら進めています。オリジナルキャラクターが解説する榎、グラビアページで魅せる落合、まちあるきマップを作成する笹塚などそれぞれが趣向を凝らしている模様。その創意工

夫は先日の新宿区の方との協議においても好評でしたが、景観構造や景観形成方針の扱い方については、いかに住民にわかりやすく、かつ限られたページの範囲内で表現するか、課題が残りました。A5サイズ90ページにも及ぶ新宿プロジェクトの集大成は、M1を中心に年末の提出に向けて仕上げられていく予定です。



上：キャラクター作成中(榎)
 まちあるき再び!左：落合/右：四谷

根津・谷中アーバンデザインワークショップ

都市空間の持続再生学

text_Farris

根津と谷中と言えば何だろう・・・と26人の、建築や都市デザインを専攻する学生が集い、約10日間、考え抜いた。

このワークショップはCOE都市空間の持続再生学のプログラムで、東大とメルボルン大学の建築や都市デザインを研究している学生が交流して、根津・谷中のアーバンデザインを議論するものである。11月10日にメルボルン大生のための東京紹介をしてから、グループに別れて根津と谷中をラドビッチ・ダルコ先生と中村仁先生の指導のもと調査・研究した。約一週間の間に各グループが根津と谷中の再開発プランや歴史保存プランを作り、11月17日にそれぞれのグループが提案を発表した。先生方の講評も概ね好評、今後の展開に期待できる。



まちあるきで調査

学生プロジェクト EXPO 2007

M1 上田 恵莉

11月24日(土)にUDCKにて「学生プロジェクトEXPO 2007」というイベントを行いました。

このイベントは都市を研究対象とする学生の取り組む様々なプロジェクトを展示・発表し、議論を行うというものです。他の学生のプロジェクトを知り、研究室を飛び出し同世代で語り合

うことで、問題を共有し、刺激を与え合う機会を持つというのが目的でした。当日は江戸川大・千葉大・筑波大・東大・東京理科大・法政大から8プロジェクト、約25名の参加者がありました。デザ研からは「八尾」と「鞆の浦」の発表があり、中島助教もゲストとして参加して下さるなど、イベントを盛り上げて下さいました。本当にメンバーや皆様に感謝、感謝です。参加して下さった皆様ありがとうございました。



地元で行われていたのれんスタンプラリーの様子。



勝手にこんなコーナーを設けてしまいました。記事にするほど書くことはないが、なにか伝えたいこと。そんな日々の小さなこまお待ちしております。



このスタバの外観は淡くていいですね。

PhotoGallery ☕

編集後記

めっきり冬に突入ですね。学校の銀杏がともきれいに色づいて、夕方なんか黄色がますますまぶしくなります。今、学校に通っている皆さんはもちろんご存知と思いますが、14号館と1号館の間の広場が改修されてなんだかとても開放的になりました。夜には真ん中の大銀杏がライトアップされて、コンドル先生像も格段存在感を増しております。休みの日にはご近所の方が散歩に来られてベビーカーがずらっと並んだり、めっきり「休日にちょこっと訪れたい場所」に変わりました。目の前のスターバックスもきっと売り上げ好調なんじゃないだろうか。刻一刻と、日々が過ぎていき、M2はもうカウントダウンが始まりました。残り2ヶ月。銀杏の散っていくのを横目で見ながら、今までのふんを追い上げるように。

text_shiozawa

第13回研究室会議

text_shiozawa

11月21日、M2の2ターンめの発表。M2は今年度内にもう一度チャンスは頂けるようですが、残り2ヶ月です。ここから猛ダッシュで追い込み！

- 塩澤諒子
『近代以降の小広場空間の計画思想と空間の変遷に関する研究』
- ウィチエンブラディット・ポンサン
『日本における屋台の系譜と中心市街地活性化への展開にかんする研究』
- 吉田拓
『東京湾の眺望景観に関する研究(仮)』
- 伊藤雅人
『東京山の手における都市河川とその近辺に広がる密集市街地との関係性に関する研究～世田谷区太子堂地区と渋谷区本町地区をケーススタディーとして～』
- 後藤健太郎
『都市における交差点の空間的意味と景観的特性に関する考察～東京都心部における多叉路(五叉路、六叉路)を通して～』

締め切り間、京都コンペ 行く末いかに

text_hiraoka

一次審査は12月末。気になる結果は果たして…?

M1、9人で取り組んでいる京都コンペ。11月の18日から21日に、メンバー全員で京都調査に行ってきました。とにかく広い対象敷地は外周を自転車でもまわるだけで約一時間。三日間かけて全体を調査しました。19日にはちょうどイベントが行われていて、地元のまちづくり活動の展示を見たり、のれんスタンプラリーを楽しんだり。中身の濃い京都訪問になりました。その後東京に戻り、各自が提案を持ち寄って議論を繰り返し、足りない写真を撮りに日帰りで再び京都に行ったりして、さらに議論を重ねた結果、まとまったテーマは「通学路」。12月7日の締切に向けて、今は全員でパネルを作成中です。



地元で行われていたのれんスタンプラリーの様子。



勝手にこんなコーナーを設けてしまいました。記事にするほど書くことはないが、なにか伝えたいこと。そんな日々の小さなこまお待ちしております。



このスタバの外観は淡くていいですね。

PhotoGallery ☕